



# ふれあいビンゴ

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- ・グループで協力しながら活動することにより、仲間意識を高めることができます。
- ・参加者の実態に応じたコースを選択することにより、無理なく楽しみながら野外活動ができます。
- ・CP(チェックポイント)を引率者が行うことにより、参加者との親近感をより深めることができます。

### 2 活動の概要

A・B・Cの3コースから実施するコースを選択し、各CP(チェックポイント)の課題を解決しつつ、ビンゴゲームを楽しむ活動です。なお、CPには「首から課題をぶら下げた引率者」を配置し、参加者とふれあいつつ安全管理も行う体制で実施します。

- (1)人数 120人以内(1グループ5~8人)
- (2)対象 小学3年生以上
- (3)期間 4月下旬~11月上旬
- (4)時間 1.5~3時間  
(説明・準備30分+活動60~120分)
- (5)場所 自然の家活動エリア
- (6)経費 無料
- (7)指導 依頼のある場合、ルール等について、自然の家職員が説明を行う。



<チェックポイントの様子>

### 3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装
自然の家	鉛筆、カードホルダー、ビブス、ビンゴカード(裏面地図)、課題(首下げ)、課題で使う用具一式、無線機(8台まで)

### 4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
スタート・ゴール	1~2名。玄関前SG場から時差式でスタートさせる。A・B・C全てのコースでCP5になっている。
各CP担当者	4名程度。各CPの課題を首からぶら下げて運営する。コースの道案内や安全管理も併せて行い、CP通過後は、本部に無線で連絡する。
パトロール	必要に応じて数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

## 5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、安全管理、服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手）について説明</li> <li>・鉛筆、カードホルダー、ビブス、ビンゴカードの貸出、配付</li> <li>・ビンゴカードのビンゴ表に、1～50の数字を書き入れる。 ※CP担当者はこの間に所定の場所へ移動し、課題・用具等の準備をする。</li> </ul>
活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～5分間隔の時間差でスタート (パトロール係は巡回指導)</li> <li>※班数が多い場合：A・Bコース同時スタートも可能。</li> <li>・各CPを回り、課題とビンゴ数字合わせを行う。</li> </ul> <p>【コース設定例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①単独コース（ビンゴカード1枚使用） ※Aコースのみ、Bコースのみ、Cコースのみ</li> <li>②複数コース（ビンゴカード2枚使用） ※A+Bコース、A+Cコース、B+Cコース</li> <li>③全部コース（ビンゴカード3枚使用） ※A・B・Cコース全部で実施</li> </ol> <p>(注) 複数、全部コースで実施する場合、各コースとも、必ず自然の家に戻ってくるコースとなっているため、自然の家で休憩・給水などははさんで実施する。 また、引率者が限られている場合、Aコースが終わった後にBコースに移動して配置するなど、工夫が必要である。</p>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードの回収、採点、集計、順位の発表など</li> <li>※複数、全部コースの場合、A・B・Cそれぞれのビンゴカード毎に順位を決めることができる。</li> <li>・ふりかえり、借用物品を返却（無線機は事務室へ返却）</li> </ul>

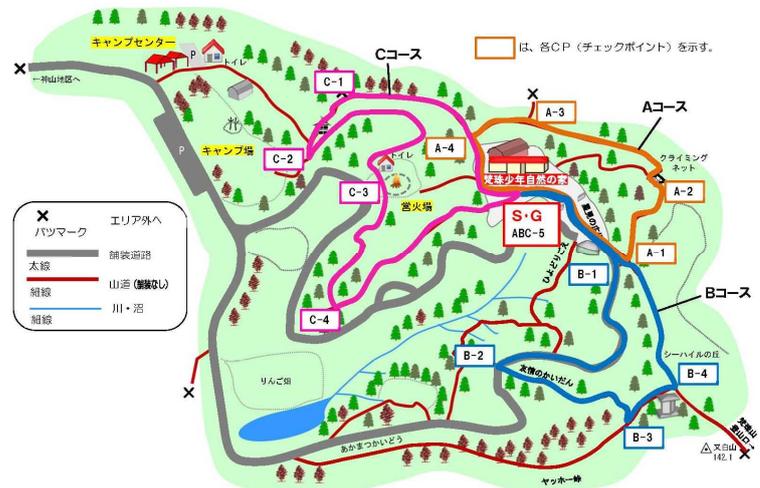


## 6 実施上の留意点

- ・当日、自然の家職員と引率者全員で、事前確認を行う。（ルール、担当者の役割など）
- ・参加者の健康状態を把握する。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・急斜面をロープに伝って登り降りするので、軍手を必ず着用させる。
- ・熱中症対策のため、十分な水分補給をさせる。
- ・危険な動植物（クマ、ヘビ、ハチ、ウルシ）への対処方法について確認する。
- ・待機場所には必ず引率者が常駐し、安全管理を行う。



## 8 エリア地図

- ・右図参照